

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No.180 令和3年1月15日

発行 社会福祉法人武蔵野会

本部 東京都八王子市旭町12-4.201 TEL042(631)6341

<https://musashinokai.jp/>

新年のごあいさつ



「サンタクロースがやってきた!
~クリスマス会~」
八王子生活実習所

トピック

新型コロナウイルスの パンデミックは世界を変えるか

「世界の民主主義国家が過半数を割った」と新春の新聞記事にスウェーデンの調査機関が昨年報告したことが載っていました。2019年現在で民主主義国家87に対し、権威主義的国家が92という結果で、この傾向は冷戦後の米国をリーダーとする民主主義と自由主義経済が経済危機により格差拡大を生み、社会の分断が進行し、既存の体制への不満が排他的なポピュリズムや権威主義的な勢力の伸長に繋がっているというのです。リーダーであった米国もトランプ大統領を生み、排他的な米国第一主義を主張しました。

このような世界で、新型コロナウイルス感染拡大の危機は、権威主義的国家が権力を行使し支配力をますます増大させる結果になっている現状が見て取れます。

しかし、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）は民主主義国家や権威主義的国家だけが終息しても終わりません。ワクチンの製造にしても富める国が作り富める国に分配する状況ですが、複数の国がワクチンを買取り世界各国に行き渡らせようとする動きがもっと広まらない限り、世界での終息には至りません。

現在、世界共通の課題はコロナのパンデミックですが、社会的孤立はコロナ禍前からの各国共通の課題です。パンデミックの終息は少なからず国家の孤立と国民の社会的孤立の改善につながると思います。新型コロナウイルスのパンデミックは世界共通の課題だからこそ、世界が一緒に考え、変わっていく可能性がある歴史の転換点になると思います。

大きな視点の話ですが、こういう視点が足元の日々の行動につながるのではないかと新春に当たって思いました。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

謹賀新年

理事長 高橋 信夫



明けましておめでとうござい
ます。
コロナ禍が増
大するなかでの

年明けとなりました。
リモートワークができない福祉の
仕事ですが、私たち福祉従事者は、
感染者に直接対応している医療従事
者に思いを寄せ、心身の健康を保ち
ながら、安定した仕事を継続するこ
とが大切だと思っています。そのた
めには一人一人が偏らない食事を
し、睡眠を確保し、適度な運動をし
て基本的な感染対策を怠らないこ
と。各施設の感染防止対策の徹底、
利用者・職員のメンタルヘルス支援、
BCP策定を通じた感染時の施設
運営、法人内連携、行政や医療関係
諸機関との連携等の対応を明確にし
ています。昨年に続き、先が見えに
くい年ですが、本年もよろしくお願
いいたします。



武蔵野会後援会会長・評議員
石谷 暢司

申し上げます。昨年春以来、私たちは
未経験の3密という感染予防に日々
つとめてきました。このような社会
的、経済的に困難な状況下に耐え忍
びながらも、後援会の会員と協力者
の皆様は従前と変わりなく、一層の
ご支援を頂き、言葉に表すことので
きないほどの感動を胸に刻みなが
ら、深く感謝申し上げます。旧臘12
月14日には社会福祉法人武蔵野会へ
第1回目の寄付金をいたしましたこ
とをご報告いたします。ここに改め
て皆様様の心温まるご協力を厚く御
礼申し上げます。新年にあたり、コ
ロナ禍が一日も早く終息することを
願い、健康と多幸を祈念し、さらな
るご協力をお願い申し上げます。

運営協議会委員 北島 武信



あけましてお
めでとうござい
ます。2017年
に運営協議会委
員を委嘱されま
した、世田谷区立世田谷福祉作業所
の北島武信と申します。新型コロナ
ウイルス感染症が感染拡大するな
か、武蔵野会の1600名の利用
者の皆様を日夜懸命に支援・介護し
てくださる職員の皆様に感謝申し上
げます。この国に生きるすべての人
に福祉と健康が必要です。本年も微
力ですが、頑張っておりますので
よろしくお願い申し上げます。

法人役員挨拶 (順不同)

【理事】



青木 秀雄
(明星大学名誉教授)



金森 仁
(弁護士)



今坂 康志
(医師)



上野 純宏
(前理事長)



山内 哲也
(リアン文京総合施設長)



山田 貴美
(法人本部長)

むさしの 武蔵野

「新たなつながり」

新型コロナウイルス

感染拡大で、外出や面会などの人
と人が接触する機会の制約が求め
られる状況が続いています。

地域福祉活動に関する調査で
「活動の中止や縮小で想定される
生活課題」として「ひとり暮らし
高齢者などが話し相手や集う場が
なくなることで、身心のバランス
を崩し、認知症の症状が悪化する
危険性がある」「つながりが薄く
なり孤立を深めるケースが増え
る」といった課題が挙げられてい
ます。

こうした状況の中であっても、
感染防止策を講じながら各地でコ
ロナ禍におけるつながりを絶やさ
ない新たな取り組みが生まれてい
ますが、その中でもICTを活用
した取り組み事例が多く紹介さ
れています。

今までオンライン会議等の参加
経験もなく、デジタル機器の活用
に不慣れた世代ではハードルが高
いのですが、今後、必要な情報
を得るためのツールとして、工夫を
しながら高齢者への支援活動も広
がりつつあるようです。今まで若
者のスマートフォンを使い方に批

【監事】



谷口 健吉
(税理士)



春日 完和
(元首席家庭裁判所
調査官)



富山 孝行
(西水元あやめ園
施設長)



松岡 利明
(八王子福祉作業所
施設長)



宮原 康輔
(練馬福祉園施設長)

【評議員】



青木 昌子
(元理事長)



井上 明子
(弁護士)



久保健一郎
(慶応義塾大学
医学部准教授)



小林 隆猛
(東京都民生委員
児童委員連合会
常任協議員)



中村 文子
(NPO法人東京都
自閉症協会理事)



西野 榮男
(元八王子市社会福祉
協議会常務理事)



原田 正樹
(日本福祉大学副学長)



福山 雅史
(東京都社会福祉事
業団理事
東京都石神井学園
施設長)



渡邊 瞭
(元エーザイ株式会社
顧問)



横山 宏
(東京都社会福祉
協議会副会長)



須永 正
(元社会福祉法人
武蔵野会施設長)



判的であった高齢者が、子どもの
頃からデジタル機器になじんでい
る若い世代のボランティアから使
い方を教わることで、多様な人々
の参加や新たな交流が生まれた事
例なども報告されています。

地域とのつながりを絶やすこと
なく、物理的な距離を心理的な距
離で埋めていくためにも「オンラ
インでのつながり」という選択肢
を増やす工夫が今後必要になっ
てきます。

当たり前だと思い、普通のこと
と感じていた日常を改めて大切に
受け止め、一人ひとりに寄り添う
つながり方を見つけ、その環境を
作り出せるよう「新たな可能性」
に取り組み時期になればと思いま
す。

コロナ禍での新しい生活様式の
中で、今できることは何かと考え、
踏み出し続けることで、新たなつ
ながり・出会い・広がりを生み出
し、この状況下でも、今だからこ
そという希望や思いにつながるの
ではないでしょうか。

大島恵の園

施設長 吉倉美佐子



練馬福祉園
施設長 宮原康輔



練馬区立北町福祉作業所
施設長 村山俊彦



リアン文京
総合施設長 山内哲也



八王子生活実習所・リンクス柵田
施設長 岡部智彦



リアン文京
施設長 野村美奈



練馬区立光が丘福祉園
施設長 横尾泰朗



さくら学園
施設長 川野文幸



すぎな愛育園
施設長 野田久美子



練馬区立光が丘障害者地域生活
支援センター「すてっぷ」
所長 石野哲朗



大島恵の園
施設長 吉倉美佐子

明けましておめでとうございませ
本年もよろしくお願ひ致します
社会福祉法人武蔵野会職員一同



世田谷区立駒沢生活実習所
施設長 木村文孝



世田谷区立烏山福祉作業所
施設長 野々村武志



希望の里
施設長 福田信行



小平福祉園
施設長 多々良康子



白鳥福祉館
施設長 大島安彦



東堀切くすのき園
施設長 金澤正義



世田谷区立世田谷福祉作業所
施設長 伊藤久美子



西水元あやめ園
施設長 富山孝行



世田谷区立九品仏生活実習所
施設長 山内ゆきみ



八王子市心身障害者福祉センター
施設長 峯尾常雄



練馬区立大泉町福祉園
施設長 酒井康弘



第2大島恵の園
施設長 安田喜人



法人本部職員



千代田区立障害者福祉センター「えみふる」
施設長 高橋道也



八王子福祉作業所
施設長 松岡利明



きね川福祉作業所
施設長 大和田卓



武蔵野児童学園
施設長 金子陽介

大島地区 実践事例報告会

大島地区

11月28日(土)、大島地区の実践事例報告会を実施しました。コロナ禍でもあり、理事長・本部長にはZoomによるご参加と講評をいただくというこれまでにない実践報告会となりました。本部職員の皆様にも参加いただき、思いの外参加者が多くなりました。

報告をパワーポイントで作りましたが、これはこれまでと同じですが、観覧者は説明者よりもスクリーンを見ます。観覧者が見やすいようスクリーン側の照明を落とすと説明者の手元が暗くなってしまう原稿が読めません。そのため説明者の手元には原稿を読むためのランタンを置くなどの工夫が必要になりました。

Zoomの扱いに慣れていないため戸惑いもありました。特にホストになると参加された方たちの画面の扱いが難しく、発表者の紹介を大画面で実施するなどの工夫があれば良かったとの反省もありました。

本部長、春日監事が審査し、表彰を行う「支援実践集」2019年度版が完成しました。

例年6月に行う表彰式は、感染症を考慮し昨年10月15日に延期、オンラインツールのZoomを使い、進行役である法人本部が全施設をインターネットでつないで開催しました。

最優秀賞は、八王子福祉作業所がサポートするグループホーム、ハチウエルラボハウスが初めての投稿で見事受賞、多職種連携のもと地域の社会資源を多角的につなぎ、引きこもりからの自立生活を支援した地道な取り組みが評価されました。優秀賞は力作投稿の4施設がそれぞれ受賞しました。

「支援実践集」はバックナンバーを含めて武蔵野会各施設でご覧いただけます。今回は26編の掲載に加え、施設利用者の絵画を表紙に使用、体裁にも深みが増しました。受賞作は次の通りです。

【最優秀賞】(1編)

「精神科病院長期入院患者の受け入れ〜ひきこもりから地域で自立した生活へ」

【優秀賞】(4編)

「4つの柱で行う卒業後支援の取り組みについて」リアン文京
「途切れない支援を通じた再チャレンジ〜失敗から学ぶ」
八王子福祉作業所

「もうドリルはしない」8050問題

ます。また、リモート参加者の顔を映すと、多くの方の参加が伝わり臨場感が出ます。その分画面の文字を消してしまうことがわかりました。スライドの作り込みに工夫が必要そうです。



報告者の手元にはランタン(2園報告)

「電子書籍活用講座」

八王子市中心身障害者
福祉センター

2019年6月に施行された「読書バリアフリー法」。その目的は「障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現」です。電子書籍は図書館に足を運ばずに自宅や外出先でも読みたい本を選択し、読むこと・返却することができ、読み上げや文字の拡大機能、しおり・メモ機能などもあり、障害のある方はもちろん、障害のない人も便利に活用できます。

中高年利用者の支援を通して「Aさんの自立支援」
小平福祉園

社会的養護自立支援事業を利用して
武蔵野児童学園



最優秀賞のハチウエルラボハウス

NPOの皆さんの協力で 出来た本格ラーメンを

東堀切くすのき園
堪能

折からの新型コロナの問題や様々な災害への対策を立てる一方で、利用者の皆さんが毎日楽しく有意義に過ごせるよう、法人各施設ではWITHiコロナの取り組みを進めています。当園でも毎日感染防止を図りながら活動を行うほか、中止せざるを得なかった一日外出や宿泊旅行の代替企画を実施しています。昨年10月3日にはその一つとして、プロの職人が作った出来たてラーメンを提供するイベントを園全体で行いました。協力いただいたのは、困りごと

八王子市は2018年4月に電子書籍サービスを開始しました。情報を保障する支援が求められる当センターの業務と、「知る権利」「情報収集」を保障する役割を担う図書館の業務は親和性が高いことから、それぞれの施設が持つ強みを融合し、一昨年からは八王子市図書館と共催で「電子書籍活用講座」を開始しました。今年度も全2回の課程で実施し、コロナ禍にもかかわらず8名の受講生が参加し大好評でした。講座ではiPadを使い、電子書籍が持つ機能を十分に体験していただきました。今後も八王子市図書館と連携し、事業を展開していきます。



熱心に聴き入る参加者の皆さん

「支援実践集」

2019「発行
最優秀賞は初投稿の
ハチウエルラボハウス

武蔵野会が運営する各施設の取り組みを一事例ずつ掲載、理事長、

を抱えた子どもたちの支援と難病であるALS(筋萎縮性側索硬化症)の理解啓発をめざすNPO法人・チーム浅沼屋 for children and ALSとボランティアの皆さん15名。理事長の浅沼一也さんは相模原市内で人気ラーメン店を営業していた2016年にALSの診断を受け、以来、児童養護施設の子どもたちにラーメンを振る舞うなど、ALSの啓発や障害者の支援に取り組んでいます。

当日は早朝から来園、設営からスープの仕込み、熱々ラーメンの提供、会場の片付けまで大変熱心に行ってください。園庭はラーメンの屋台村のような雰囲気。利用者の皆さんは心のこもった温かいラーメンをそれぞれに美味しく召し上がっていました。

会場を撤収し利用者の皆さんを見送った後、浅沼理事長とNPOのゼネラルマネージャーの井上真吾さんから、職員全員でALSやチーム浅沼屋の活動についてお話しをお聞きし、貴重な職員研修の機会となりました。



待ちました! 熱々ラーメン



練馬福祉園

コロナ禍の中、例年10月に開催している「みのり祭」が中止となり、お楽しみのお催しが減少してしまいました。職員から企画を募り園内の催しとして11月に「ブラジルサンバ」と「移動動物園」を開き、利用者の楽しめる機会を提供しました。

小平福祉園

10月31日、晴天の中、恒例の「こすもすまつり」を開催しました。例年多くの団体、ボランティアの協力で地域の方と一緒に盛り上がり楽しめます。今年はコロナ禍のため、参加は利用者のみ、出演団体は最小限、3密を避け、念入りの消毒と様式を大きく変更した開催でした。縮小したお祭りでしたが、久しぶりのコンサートと模擬店を皆さん楽しんでいました。

リアン文京

感染症予防対策で中止していたカフェコンサートを11月から再開しました。入居されている利用者の方々とZoomでつなぎ、来場されたお客様とみんなで音楽を楽しみました。歌うことはできませんが、みんなの心が音楽でつながった時間でした。

烏山福祉作業所

米粉を使ったパンの販売を始めました。小麦粉不使用で、もちもち

りふわふわ生地のパンです。コロナ禍ではありますが、多くの方に召し上がっていただけるよう販売にも力を入れていきます。

大泉町福祉園

週に1回クリーン活動で近隣の清掃を行っています。活動用のビブスを着ると皆さん張りきって出掛け、最初は不慣れだった火バサミも上手に使いゴミを拾っていきます。活動中の近隣の方々の労いのお言葉もとても有り難いです。

希望の里

希望の里の畑では、今冬もヤツガシラ、大根が大豊作です。猿や鹿の被害があり、高めにネットを張り、電気柵を設置する等、野生動物との戦いもありますが、これからもより良い野菜を育てていきます。

光が丘福祉園

光が丘福祉園では、活動の一環でアルミ缶を回収しています。コロナ禍でも続けているなか、「今日も回収ありがとうございます。コロナ感染者も増えていますが気を付けてお互い頑張りましょう」とメッセージを頂きました。ほっこり、心が温まり、励みになりました。

光が丘すてつぷ

住民参加の演劇ワークショップで、withコロナ版の劇を創りました。演者を絞り、接触を少なく、音声は全て個別録音、マウスガードを装着に取り込むなど、様々な工夫を行ない、11月15日には演劇「8匹の怒れる動物たち」の公演を行なうことができました。

お知らせコーナー

1月

予定はありません

2月

- 10日(水) 葛飾区役所合同販売会 (きね川福祉作業所)
- 16日(火) 音楽会 (八王子生活実習所)
- 19日(金) 実践事例報告会 (八王子地区)

3月

- 23日(火) 新任職員辞令交付式 (法人)
- 25日(木) 卒園式 (すぎな愛育園)

新型コロナウイルス感染症予防のため、行事の開催を中止・縮小する場合があります。開催の有無等、詳細は各事業所にお問い合わせください。

非常用発電機

大島恵の園

一昨年の台風で24時間以上の停電を経験した大島2施設。暗い中で過ごす時間は利用者だけでなく職員も不安でした。停電を心配された家族会から台風後に、発電機が寄贈されました。今年度に入り台風の時期を迎える前に両園の食堂と談話室に非常用LED照明を設置し、寄贈された発電機から電



源が取れるようにしました。10月には夕食時に停電訓練を行い、どの場所に照明が足りないかなどを検証することも出来ました。これで非常時にも照明が確保でき、利用者・職員の不安も軽減することが出来ます。



持ち運びにも便利な発電機です

ショーケース

自主生産品紹介

新商品

かりんとう饅頭

きね川福祉作業所

☎03・3694・1577

コロナ禍の影響を受けている「葛飾かりんとう饅頭(120円)」ですが、ぷらすちよいす(区内の福祉施設自主生産販売所)で行われたクリスマスイベントに参加し好評を得ました。また、同時に長期保存タイプの新商品も常設商品として販売を開始しました。是非一度お手に取りご賞味ください。



カリカリサクサクが美味!

高橋工房とのコラボ扇子

リアン文京

☎03・5940・2822

この度、リアン文京の近くに古くからある老舗の版画工房「高橋工房」とのコラボ製品で扇子を販売することになりました。利用者の方が描いた3種類の絵が版画で刷られています。文京区に古くから続く伝統の技と利用者のアートな感性が融合した「粹」を感じる素敵な一品です。



「宴」「ふくろう」「髭のおじさん」各4500円

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する事業所の利用者のためにより良い環境や施設の充実、円滑な運営などを物心両面から支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大を図り、法人の運営基盤の確立を応援していますのでご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772